



HHP2アプリ取扱説明書



この取扱説明書は英語で作成されたものを日本語 に翻訳しております。内容の正確性には万全を期 しておりますが、記載内容に一切誤りや欠落がない ことを保証するものではありません。 HHP2 appはBluetooth通信を利用したアプリです。 お使いのロードセルがBluetoothモデルであることを あらかじめご確認ください。



アプリのダウンロード	01
はじめに	02
ユーザー設定(言語、単位、アラーム等)	03–05
レポートの作成	06
吊り上げ回数のカウントと閾値設定	07
校正期限の通知と再接続	08





下記QRコードより、iOS App Store 又はGoogle Play StoreからHHP2アプリをダウンロードしてください。



注:アプリはAndoroid4.4バージョン以降で動作し、Samsungの一部のモデルを除いた(これは、BLE接続 に関するメーカーの欠陥によるものです)、4インチ以上のディスプレイサイズを備えたほぼ全てのメ ーカーのスマートフォンでの使用に適しています。

Appleデバイスでは、アプリはiOSバージョン6以降で動作し、iPhone5以上での使用に適しています。

」 び の 「 」 v2.00 Part No: SU3877 01

	Device List		
Devices		کimulators	
	スキャン		
48204			制除
48205			削除
48207			削除
48209			削除
	CONNECT		
-	CONNECT V: 2.0.0	_	

- 1. 関連するアプリストアからアプリをダウンロードしてインストールします。 (QRコードからAndroid/Appleアプリダウンロードページにリンクします)
- 2. アプリを起動する前に、デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。 (アプリを起動すると、先に進む前にアプリから有効化を求められます)
- 3. SP Bluetooth 対応ロードセルが通信距離範囲内(最大100m)にあることを確認します。
- 4. アプリが完全に起動したら、SCANボタンを押して周囲のあるSP Bluetoothロードセル をスキャンします。
- 5. 接続可能なロードセルが検出されると、リストに追加されます。(図1)
- 6. 最大4台のロードセルと同時に接続することができます。ロードセルを選択して「接続 (CONNECT)」ボタンをタップすると、ロードセルとの接続を開始し読取値を受信します。



ロードセルと接続するとモニタリング画面に移動し、画面下部に上記ボタンが表示されます。(図2)

- 風袋引き 風袋の重さを差し引いて吊り荷の正味量を表示します。
- 測定単位の選択 測定単位を選択することができます。(te/ibs/kN/kg)
- ③ ピークホールド機能 測定値の最大値を表示します。
- ④ データログ 測定値の記録を作成してエクスポートします。
- ⑤ ステータスバー (バッテリー、Bluetooth接続、選択したデータログ形式)
- 6 ユーザーメニュー

8

v2.00

Part No:

SU3877

02

- ⑦ スタートシフト 吊り上げ回数のカウントを開始します(予め閾値の設定が必要です(P.7))。
- ⑧ 合計値 接続中のロードセルの荷重合計値を表示します(最大4台)。



[ユーザーメニュー] ①を選択するとメニューオプションが表示されます。(図3) 次に[ユーザー設定(User Settings)]②を選択します。

Back User Settings	
Language Set required language	
Alarm Alarm for high and low values	>
Resolution Define a custom resolution	>
Lift Threshold Define lift threshold	>
Overload Check overload values (Read Only)	>
Default Unit	
Select the type of data logging	>
Flash Screen Flash the screen when an alarm is activated	0

ユーザー設定では次のような設定が可能です。(図4,5)

- ・ 言語(Language) 8カ国語から選択します。
 (英語、スペイン語、フランス語、中国語、日本語、オランダ語、ノルウェー語、ドイツ語)
- アラーム(Alarm) 各ロードセルの高アラーム、低アラーム及びアラームラッチ機能が設定できます。
- レゾリューション(Resolution)-読取値のレゾリューション(最小表示単位)の設定ができます。
- 閾値(Lift Threshold) –吊り上げ回数カウントの閾値を決定します。読取値が閾値を超えて3秒以上 経過した後にこの値を下回ると1回の吊り上げとしてカウントされます。
- オーバーロード回数表示(Overload)-オーバーロードの有無、最高荷重や回数を確認できます。
- デフォルトの表示単位(Default Unit) 表示単位のデフォルト設定又はカスタム設定ができます。
- データログ(Data Log) データロギングタイプを選択します。
- フラッシュ画面(Flash Screen) ONIC設定すると、アラームが作動したときに画面が点滅します。
- バイブレーション(Vibrate) ONに設定すると、アラームが作動したときに振動します。
- 負の値を表示する(Show Negative Values) ONに設定すると、ゼロ以下の値を表示します。
- 音声(Sound) ONに設定すると、アラームが作動したときに音が鳴ります。
- デジタルダイヤルの表示(Show Digital Dial) 数字の代わりにダイヤルを表示します。







Languages
English
Germany - German
Japan - Japanese
Netherlands - Dutch
Norway - Norwegian
Spain - Spanish
China - Chinese
France - French

言語設定 (図 6)

- ・English 英語
- Spain スペイン語
- France フランス語 China 中国語
- Japan 日本語
- Netherlands オランダ語
 Norway ノルウェー語
 Germany ドイツ語



アラーム設定(図7)

- 高アラーム(Alarm High): 読取値が設定値を上回るとアラームが鳴るようにする設定です。
- 低アラーム(Alarm Low): 読取値が設定値を下回るとアラームが鳴るようにする設定です。
- アラームラッチ(Latch Alarm):読取値がアラーム範囲から外れた後もアラームを鳴らし続けます。

レゾリューション設定(図8.9)

- •ユーザー定義(Custom Resolution)(図8)-レゾリューションを小数点単位で定義します。
- デフォルト(Default)(図 9) アプリ定義のレゾリューション。(校正時に設定されたレゾリューション).

吊り上げ回数カウント閾値(図10)

ロードセルの読取値が閾値を3秒以上回り、その後この値を下回ると1回の吊り上げとしてカウントさ れます。閾値は接続されている全てのロードセルに個別に設定することができます。

v2.00 Part No: SU3877 04



オーバーロード設定(図11)

各ロードセルに記録されているオーバーロードの履歴を確認することができます。 オーバーロード時の最大値と発生回数も表示されます。この機能は読み取り専用です。

デフォルトの単位設定(図12,13)

- デフォルト単位(Default unit):規定値として表示する単位をte, kN, kg, Ibから選択できます。
- カスタム単位(Custom unit): ユーザー定義の表示単位を設定できます。

単位表記及び変換係数(1トン基準)を設定します。

< Back	Data Log Settings
Data Log	g Timed - erval 1
off	Data Log
Tim	naal 🗸
W	Cancel OK
(図 1	4)

データログ設定 (図 14)

- ・データログ データログ形式を選択します。
 - ・オフ (Off) データロギングをオフにする。
 - ·マニュアル (Manual) ユーザーが手動でログを取ります。
 - ・時間制 (Timed (図 15)) ユーザー定義の時間間隔で読取値のログを取ります。(秒単位)
 - ・高アラーム時 (While overload) 高アラーム時にログを取ります。
 - ・低アラーム時 (While underload) 低アラーム時にログを取ります。
- ・時間間隔 (Time interval) 時間制データログを選択した場合のみ、時間間隔を設定できます。

メニュータブボタン (図16)

・フラッシュ画面 (Flash screen) - ONに設定すると、アラームが作動したときに画面が点滅します。

- ・バイブレーション (vibrate) ONに設定すると、アラームが作動したときに振動します。
- ・負の値を表示する (Show negative value) 設定するとゼロ以下の数値を表示します。
- ・音 (Sound) ONに設定すると、アラームが作動したときに音が鳴ります。
- ・デジタルダイヤルの表示 (Show digital dial) 数字の代わりにダイヤルを表示します。





レポート作成するには以下の手順を行ってください。

- 1. データログ形式を選択しホーム画面のデータログボタンを押します。(図17)
- 2. プロジェクト名を「プロジェクト欄の詳細(Project Details)」欄に入力します。(図 18)
- 3. 「ジョブ ID(Job Id)」欄にジョブ参照名を入力し、「OK」を押して保存します。
- 4. 測定レポートの場所を設定するには、手動で入力するか、マーカーアイコンを選択して場所を自動 的に入力します(携帯のGPS機能を使用します)。その後、「開始(START)」ボタンを押します。
- 5. データログ形式をマニュアルに設定した場合、「記録(Record)」ボタンを押して、画面に表示された 測定値をキャプチャします。レポートを終了したい際は「終了(STOP)」を押します。
- データログ形式を時間制に設定した場合、プロジェクトの詳細を入力して「START」を押すとすぐ に記録が開始されます。記録を終了したい際は「STOP」ボタンを押します。
- 7. 「高アラーム時」または「低アラーム時」のどちらかに設定した場合、「プロジェクトの詳細」と「ジョブID」を 指定して「OK」を押すとすぐに、高/低アラーム時の測定値が自動的に記録されます。記録を終了したい 際には「STOP」ボタンを押します。
- 8. 測定値の記録が終了すると、レポートを表示するかどうか尋ねられます。(図19)「Yes」を選択すると、 レポートセクションに移ります。(図 20)
- Excelシートのレポートをメール送信するにはメールアドレスを入力し、「送信(Export)」を選択します(Wifi/ ネット接続が必要です)(図21)
- 10.レポートをExcelシートとして携帯に保存して表示するには、「Export」を選択します(レポートを表示する には、シートを表示するアプリが必要です)。シフト中の計量がすべて完了したら、シフトを終了します。 注:一度シフトを開始すると、単位を変更することはできません。
- :データログを開始すると、風袋引きボタンと単位ボタンは無効になります。



すべての記録済みレポートを表示するには **0**「ユーザーメニュー」アイコンを選択します。 次に**0**「報告(Report)」オプションを選択します。 レポートは図22のようにリスト表示されます。表示/送信/エクスポートいずれかを選択してください。(図20.21)

() Total: 0.000 te		Select Device	Sack Lift Threshold
48205	Language Set required language	48205 >	Device: 48205 CHANGE
CALISMUTION EXHIBIT Contact. recaliginitiaging point.com	Nerm		Lift Threshold 016
	Alarm for high and low 2 values		
	Resolution >		
0.000	Lift Threshold > Define lift threshold		
te	Overload Check overload values (Read Only)		
	Default Unit		
	Data Log Select the type of data		
	Flash Screen Flash the screen when an alarm is activated	CANCEL	
(図 23)	(図 24)	(図 25)	(図 26)

シフト開始前の表示(図23)

閾値の設定:ユーザー設定>閾値(Lift Threshold)(図 24)

ロードセルの選択 (図 25)

閾値の設定(図 26)ロードセルの読取値が閾値を3秒以上回り、その後閾値を下回ると1回の吊り上げ 回数としてカウントされます。

🗮 Total: 0.000 te 🔞	Kernel Back Shifts		Kack Shifts	♦ Back Lifts
48205	Started Skit Finished Skit 14/07/2023 14/07/2023 17:23 17:23	Started Shift Finished Shift 13/11/2023 13/11/2023 11:14 11:14	Started Skitt Resided Skitt 13/11/2023 13/11/2023 14:06 14:08	Project Details: test1 Job ld: test1 Log Date: 13/11/2023 14:06:02
	Noel Litts Litt Weight Nool Lags Som of 0 0 te 0 Meights 0 te	NoerLubs LubsWeight NoerLogs Sum of 1 7.5 te O Weights O te	No of Lifts Lift Weights 201 19.38 te 1 Weights 10.724c	No of Lifte: 10 Sum of 1972 Weights:
			Started Skift Finished Skift 13/11/2023 13/11/2023 11:27 11:27	
0.000			Noof Liffs Lift Weight Noof Logs Sum of 1 9.56 te 0 Weights 0 te	
te				
* 🔛 🖸 🛈				
FINISH SHIFT				
(図 27)	(図 28)	(図 29)	(図 30)	(図 31)

シフト(START SHIFT)をタップして開始すると、ボタンがシフトの終了(FINISH SHIFT)に代わります。(図 27) 閾値を超えたロードセルがない場合、レポートセクションには吊り上げ回数のと表示されます(図 28)。 読取値が閾値を超えた場合、吊り上げ回数としてカウントされ、レポートセクションは(図 29)更新されます。

吊り上げ回数(No of Lifts) = 接続中のロードセルのうち、閾値を超え、その後下回って戻ってきた回数。 読取値が閾値以下に戻っていなければ、吊り上げ回数としてカウントされません。

吊り上げ荷重(Lift weight) = 閾値以上になったロードセルのピーク値の合計値 例) 4台のロードセルの閾値は以下のように設定されています。

D1 = 1te D2 = 2te D3 = 1.5te D4 = 2.5te

次に以下のように数値が読み取れたとします。 計測1: D1 = 0.5te, D2 = 2.5te, D3 = 1.6te, D4 = 2.6te [吊り上げ回数= 3, 吊り上げ荷重 = 6.7te] 計測2: D1 = 1.2te, D2 = 1.8te, D3 = 1.8te, D4 = 2.54te [吊り上げ回数更新 = 6, 吊り上げ荷重更新 = 8.1te] {1.2 + 2.5 + 1.8 + 2.6 = 8.1}

データログ形式がONになっている場合、レポートにはログの合計と荷重合計が表示されます。(図 30) ログの回数(No of Logs) = 今回のシフトではログデータが何セットあるのか 荷重合計値(Sum of weights) = 全てのログ(Lifts)の荷重合計値を合計したもの

"シフト(Shift)"を選択すると、記録されたデータの詳細が表示されます。(図31)
 ・荷重合計(Sum of weights)は、ログ中での各ロードセルのピーク値(>閾値)の合計を示します。
 ・吊り上げ回数(No of lifts)とは、ログ内で閾値を何回超えたかを示すものです。







(図 32)

ロードセルの再校正が必要な場合は、ロードセルを接続した直後に、HHPアプリのホーム画面に添付の画面が表示されます。(図32)

赤で囲まれている注意アイコンは、ロードセルが一度でもオーバーロードしたことを示します。(図33) オーバーロード値は出荷時に設定されています。



Devices		<i>₽</i> Simulators
	SCAN	GITTERET
	SCAIN	
48204		DELETE
48209		DELETE
48207		DELETE
48205		DELETE
	CONNECT	

新しいロードセルと再接続するには、 ①「ユーザーメニュー」アイコンを選択します。 ②「再接続」(Bluetoothのマーク)のアイコンを選択します。

図34のように、範囲内のすべての新しいロードセルがリスト表示されます。新たに接続したいロードセルを選択し「接続(CONNECT)」をクリックすると再接続が完了します。

注「メーカー設定(Manufacturer settings)」は、メーカーのみアクセスできます。

v2.00 Part No: SU3877 08



■ お問い合わせ先



本

XARTI 社 〒650-0046



info@martec.co.jp / www.martec.co.jp

東京支	店	〒104-0052
名古屋支	店	₹455-0801
神戸支	店	₹650-0046
福岡支	店	〒816-0912
札幌営業	所	〒003-0871
仙台営業	所	〒984-0012
北関東営業	所	₹370-0854

神戸市中央区港島中町 5-1-1
東京都中央区港島中町 5-1-1
東京都中央区月島 1-27-9 第41/5かけプル
名古屋市港区小確 2-126
神戸市中央区港島中町 5-1-1
福岡県大野城市御笠川 2-16-18
札幌市白石区米里1条 2-14-12
仙台市若林区六丁の目中町 30-24
群馬県高崎市下之城町 532-4

TEL 078-302-0460 / FAX 078-302-1404 TEL 03-5546-1232 / FAX 03-5546-1238 TEL 052-389-5300 / FAX 052-389-5301 TEL 078-302-2370 / FAX 078-302-0446 TEL 092-513-3061 / FAX 092-513-3062 TEL 011-872-7161 / FAX 011-872-7170 TEL 022-287-3140 / FAX 022-287-3144 TEL 027-367-4611 / FAX 027-367-4615

